

令和6年10月4日

諏訪市立諏訪南中学校長 増村隆洋

### 令和6年度 前期後期終始業式 校長講話

諏訪南中学校の愛言葉は「夢叶うまで挑戦」です。みんな答えられますね。

前期始業式で皆さんに「夢を叶える3つのC」の話をしました。そして、前期の自分を振り返り、チャレンジ（挑戦）したこと、その結果、チェンジ（成長）できたことを全員にタブレットでフォームに入力をしてもらいました。学年ごとにテキストマイニングにまとめたものを共有したいと思います。

1年生です。やはり中学に入学して部活動や勉強にチャレンジした人が多かったようです。その結果、中学校生活に慣れたり、たくさんのことを知ることができたり、友だちと話せるようになったりして、楽しい中学校生活が送れるように成長できたという人が多くいます。

2年生です。先週おこなわれた南輝祭や夏休み前に実施した職場体験、トレッキングなど、行事の場で挑戦した生徒が多かったようです。その結果、人前で話す力がついたり、苦手なことにも挑戦できる自分に成長できたりしたという人が多くいます。

3年生です。流石3年生は、勉強に挑戦したり、積極的に授業に臨んだり、苦手な教科にも意識的に取り組んだりした生徒が多くいたようです。その結果、問題が解ける力がついたり、集中力や積極性が高まったりしたと成長を感じている人が多いようです。「隙間時間」というワードもあり、隙間時間を使って学習に取り組んでいる人もいますね。

何ごとにも前向きにチャレンジ（挑戦）すること、そしてその結果、自分がチェンジ（変化や成長）を実感できること、これからも大切にしてほしいと思います。

さて今日は、後期のスタートにも当たりますので、後期に全校のみなさんで大切にしてもらいたいことをお話します。

今年の夏もパリオリンピックが開催され、日本人の活躍が印象に残っていますが、スライドのこの選手は、2022年の冬季北京オリンピック、スノーボード女子ビッグエアの競技に出場した岩淵麗楽選手です。2022年2月15日に行われた女子ビッグエア決勝。岩淵選手は2回目の試技を終えて暫定4位。逆転優勝をねらった最後の3回目の技は、これまで女子選手では誰も成功したことの無い超大技「トリプルコーク（縦3回転）」にチャレンジ。しっかりと回転し両足で着地したものの弾みで尻もちをつき、最終順位4位となり逆転での表彰台は叶わなかった。しかし、その直後、世界的に話題になる感動的なシーンが生まれました。斜面を降りて来た岩淵選手に、先に競技を終えた選手が次々と駆け寄って、アメリカ、カナダの7人の選手が岩淵選手と抱き合ったのです。これは、男子選手なみの大技（危険な技）に女子選手として果敢にチャレンジした岩淵選手を

全員が称賛する姿でした。非常に感動的なシーンとして、そして本来のスポーツのあるべき姿として取り上げられました。一見、メダルの獲得を目指して競争しているけれども、深いところではその競技全体の向上のために協働している。

本校でも先週末に開催され南輝祭では、ステージ発表に始まり、運動会、音楽会と学級、学年、全校で南輝祭成功に向けて協働する姿が見られました。また、後期も2年生は生徒会の引き継ぎ選挙、3年生は進路選択等、競うけれど共に創り上げる意識が大切な取り組みがいくつもあります。そこで、後期キーワード1つ目は「協働」です。学級で、学年で、そして全校で大切にしてほしいと思います。協働は南輝祭でも証明してくれた南中生の強みだと思います。更に協働する姿を学校生活の多くの場面で見せてほしいと思います。

2つ目は、反町康治氏のことばを受検に向かう3年生、そして目標に向かう1,2年生に贈ります。それは「結果を得るために必要な準備」です。反町氏は、知っている人もいますが、以前に松本山雅の監督をしていた方です。2012年～2019年までの8年間、山雅を率いて2013年にはJ1にも昇格をさせました。その反町氏が当時、信毎に「リスペクト」というタイトルで月一回、コラムの連載をしていました。校長先生自身もいろいろな方の言葉を、生きる上で、そして、仕事に向かう上で自分の糧、よりどころにしていますが、この言葉はまさにその一つでもあります。反町氏はこのように続けています。「何事にも準備というのは非常に重要だ。サッカーのゲームは90分で終わるかもしれないが、そのための準備にどれくらい時間をかけたかが勝負にかかわってくる。最終的には結果に関係なく、その準備をすることに価値がある。その準備に人間としての成長がある。」挑戦することは、この準備の積み重ねだと思います。是非、皆さんも、受検に向けて、テストに向けて、次のステージに向けて、最善の準備をすることを大切にしてほしいと思います。2つ目のキーワードは「最善の準備」です。

最後、3つ目のキーワードはズバリ「別れ」です。あまりピンとこないかもしれませんが、あと半年後にはそれぞれの学年の別れがあります。仲間との別れもあります。1年生は学級が変わります。3年生は卒業です。仲間とどうやって別れていくのか。先生との別れもあります。一年間過ごした教室とも別れます。中学校とどうやって別れていくのか。「別れ」を意識することは一日一日の「時間」、仲間や先生など「人」、教室や机など「物」を大切にすることにつながります。次のステージに進むために「ウェルビーイングな別れ」を意識する後期にしてほしいと思います。

後期のキーワード ①「協働」、②「最善の準備」、③「別れ」です。意識をして生活を送ってみてください。

「全ての生徒にとってウェルビーイングな南中」をつくっていきましょう！！